

# 田辺工業高

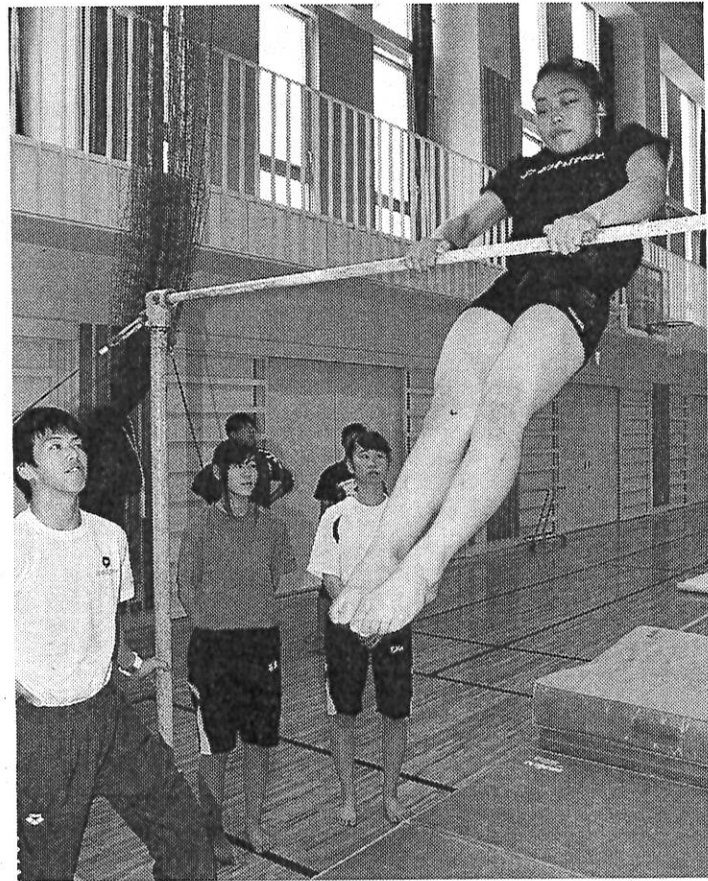
# 体操部に13年ぶり女子

# 「スポーツで活躍する場を」

田辺工業高校(田辺市あけぼの)の体操部に、1年生の女子3人が入部した。男子は全国高校総体(インターハイ)に毎年出場しているが、女子部員が在籍するのは2003年以来13年ぶり。同校は「女子もスポーツで活躍する場をつくっていききたい」としている。

同校体操部は男子部員が中心で、男子団体は県高校総体で昨年まで6連覇している。個人を含めてインターハイに17年連続で出場しており、全国トップレベルの選手が数多く輩出している。

女子部員は02年と03年にインターハイに出場した選手が1人いたが、それ以降は入部者がいなかった。高校で体操部に入りたい紀南地方の女子は紀北の高校に進学することもあったという。



練習に励む田辺工業高校体操部の女子部員  
(田辺市あけぼので)

田辺工業体操部の部員は42人。このうち1年生は15人で、女子は大橋美穂さん(15)、谷澤舞香さん(15)、石川来夏さん(15)。明洋中学校体操部出身の大橋さんは「今はまだ無理かもしれないけれど、インターハイに出られるよう頑張る」と話す。中学の時はバレーボール部だった谷澤さんは「クラブの説明会で興味を持った。いずれは試合に出られるよう練習を頑張りたい」、中学時代はテニス部だった石川さんは「体操は難しいけれど、練習して上手になりたい」と意欲を見せている。

顧問の新藤大知さん(23)

は「うちのクラブは礼儀やマナーをしっかり学ぶのが基本。技術もそうだが、人間として成長してほしい」と期待する。

2、3年生と1年生の経験者は、27、29日に和歌山市の県立体育館である県高校総体に出場する。男子団体は7連覇に向け練習に励んでいる。同校は全校生徒499人のうち、女子は58人。花本明校長は「目的を持って高校生活を過ごせば必ず結果が出る。女子が運動部で活躍する場を広げたいと思っていたので、

3人の入部は大変うれしい」と話している。